平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名　萩原電気株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7467　URL　http://www.hagiwara.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 岩井　三津雄
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　(氏名) 福嶋　洋二　TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日　平成25年8月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	19,556	△10.4	422	△2.8	411	△1.1	215	△5.2
25年3月期第1四半期	21,838	63.4	434	374.9	416	447.3	227	856.5

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　316百万円　(36.4%)　25年3月期第1四半期　231百万円　(728.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	32.21	―
25年3月期第1四半期	33.99	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	39,731	18,467	46.5
25年3月期	40,455	18,311	45.3

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　18,467百万円　25年3月期　18,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	19.00	―	24.00	43.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		22.00	―	22.00	44.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	△6.0	950	△7.4	920	△7.0	510	△5.0	76.17
通期	86,000	0.9	2,150	3.7	2,090	1.7	1,180	3.4	176.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	6,908,000 株	25年3月期	6,908,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	212,321 株	25年3月期	212,296 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	6,695,687 株	25年3月期1Q	6,695,722 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策や日本銀行の金融政策などを契機とした株高・円安の流れを受け、企業の景況感や個人消費のマインドが改善する中、景気は持ち直しの動きを続けてきたものの、海外景気の下振れ懸念等、先行きの不透明感を払拭できずに推移してまいりました。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、米国を始めとする海外販売需要が伸張し、自動車生産は堅調に推移してまいりました。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の伸張に努めるとともに、継続的なコスト削減を推進し、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、業績は当初見込みを若干上回る状況で推移しましたが、前年同四半期比においては、お客様のＢＣＰ対策在庫向けの売上等の一時的な変動要素があったことから、当第１四半期連結累計期間の売上高は195億56百万円（前年同四半期比10.4％減）、営業利益は４億22百万円（前年同四半期比2.8％減）、経常利益は４億11百万円（前年同四半期比1.1％減）、四半期純利益は２億15百万円（前年同期比5.2％減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

（デバイスビジネスユニット事業）

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを主力に、マイクロプロセッサー、システムＬＳＩ、アナログ・パワー半導体、コンデンサ、リレー、コネクタ等の販売ビジネス、システムＬＳＩ設計、ソフトウェア開発等の技術サポートビジネスを展開しております。

当第１四半期連結累計期間におきましては、ハイブリッド車を中心に国内需要が底堅く推移した他、好調な米国向け需要に支えられ、自動車の生産が堅調に推移したものの、前述の前年同四半期比での変動要素分をカバーするまでにはいたらず、デバイスビジネスユニット事業の連結売上高は170億17百万円（前年同四半期比12.0％減）、営業利益は７億１百万円（前年同四半期比7.0％増）となりました。

（ソリューションビジネスユニット事業）

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、お客様に対し、自社製品を含めたＩＴ機器の提供やアプリケーション開発を始めとする課題解決型ソリューション提供ビジネス、計測分野やＩＴプラットフォーム基盤構築分野におけるソリューション提供ビジネス、お客様製品に組み込まれる電子機器の販売ビジネス、電子・情報プロダクツの開発・製造ビジネスを展開しております。

当第１四半期連結累計期間におきましては、企業の収益改善等を背景に、設備投資・情報化投資需要に持ち直しの動きが見られたものの、その動きに力強さが感じられない中、新規顧客の開拓やＦＡ・計測分野やＩＴプラットフォーム基盤構築分野でのソリューション提案営業を展開し、ソリューションビジネスユニット事業の連結売上高は25億39百万円（前年同四半期比1.8％増）、営業利益は８百万円（前年同四半期比16.5％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

資産合計は、前連結会計年度末に比べて７億24百万円減少し397億31百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて５億80百万円減少し350億52百万円となりました。これは主に、商品及び製品が７億63百万円増加しましたが、現金及び預金が３億67百万円および受取手形及び売掛金が８億55百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて１億43百万円減少し46億78百万円となりました。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べて８億79百万円減少し212億63百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10億50百万円減少し169億７百万円となりました。これは主に、短期借入金が２億86百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が６億91百万円および未払法人税等が４億65百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて１億70百万円増加し43億56百万円となりました。これは主に、長期借入金が１億80百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて１億55百万円増加し184億67百万円となりました。

この結果、自己資本比率は46.5％（前連結会計年度末は45.3％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の業績予想につきましては、平成25年５月９日の決算短信で公表いたしました第２四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（在外子会社の収益および費用の本邦通貨への換算方法の変更）

在外子会社の収益および費用は、従来、在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が今後さらに増加することが見込まれるため、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、当第１四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更による前第１四半期連結会計期間の損益への影響額および当第１四半期連結会計期間の期首までの累積的影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,119	3,751
受取手形及び売掛金	22,676	21,821
商品及び製品	7,821	8,585
仕掛品	233	287
原材料及び貯蔵品	127	125
その他	655	484
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	35,632	35,052
固定資産		
有形固定資産	2,753	2,747
無形固定資産	384	330
投資その他の資産		
その他	1,695	1,616
貸倒引当金	△11	△16
投資その他の資産合計	1,684	1,600
固定資産合計	4,822	4,678
資産合計	40,455	39,731
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,612	9,921
短期借入金	5,020	5,306
1年内返済予定の長期借入金	719	719
未払法人税等	517	51
その他	1,087	907
流動負債合計	17,957	16,907
固定負債		
長期借入金	3,380	3,560
退職給付引当金	344	332
役員退職慰労引当金	359	―
その他	101	464
固定負債合計	4,186	4,356
負債合計	22,143	21,263

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,439	2,439
資本剰余金	2,884	2,884
利益剰余金	13,146	13,201
自己株式	△209	△209
株主資本合計	18,260	18,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	103
為替換算調整勘定	△38	47
その他の包括利益累計額合計	50	151
純資産合計	18,311	18,467
負債純資産合計	40,455	39,731

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	21,838	19,556
売上原価	19,981	17,685
売上総利益	1,857	1,871
販売費及び一般管理費	1,422	1,448
営業利益	434	422
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
業務受託手数料	2	12
その他	19	1
営業外収益合計	27	19
営業外費用		
支払利息	13	13
為替差損	18	7
売上債権売却損	11	7
その他	1	0
営業外費用合計	45	29
経常利益	416	411
特別損失		
固定資産処分損	0	0
投資有価証券評価損	0	－
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	415	411
法人税等	188	196
少数株主損益調整前四半期純利益	227	215
四半期純利益	227	215

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	227	215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	14
為替換算調整勘定	36	86
その他の包括利益合計	4	100
四半期包括利益	231	316
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	231	316
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	デバイスビジネスユニット事業	ソリューションビジネスユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,344	2,494	21,838	－	21,838
セグメント間の内部売上高又は振替高	26	2	28	△28	－
計	19,370	2,496	21,867	△28	21,838
セグメント利益	655	6	662	△228	434

（注）１　セグメント利益の調整額△228百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	デバイスビジネスユニット事業	ソリューションビジネスユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,017	2,539	19,556	－	19,556
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	－	18	△18	－
計	17,035	2,539	19,574	△18	19,556
セグメント利益	701	8	709	△287	422

（注）１　セグメント利益の調整額△287百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。